

山LP協第 76 号
令和4年 7月21日

会 員 各 位

(一社) 山口県LPガス協会
会 長 床西 悟 (印略)

保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示等の一部改正について
(キャンピングカー等に係る緊急時対応30分ルールの変換措置) (お知らせ)

平素から、当協会の事業に格別のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、このことについて、(一社) 全国LPガス協会から別添のとおり通知がありましたのでお知らせします。

なお、この通知によると、現在、全LP協においてこの改正についてのQ&Aを作成中のことです。また、質量販売緊急時対応講習の実施者や進め方等については、現在、国において調整中とのことであり、これらについての通知があり次第、別途、お知らせします。

[主な改正概要]

質量により販売されたLPガスを屋外において移動して使用されるキャンピングカー、キッチンカー等消費設備により消費する一般消費者等については、緊急時対応に関する一定の知識や技量のための講習を修了した上で、緊急時に必要な措置を自ら行うことについて、LPガスの販売契約を締結したLPガス販売事業者の確認を受けるという代替措置を取る場合に限り、緊急時対応30分ルールの対象から除くこととされた。

なお、従来通り緊急時対応30分ルールで使用する一般消費者等については、受講の必要はない。

一般社団法人山口県LPガス協会事務局
TEL.083-925-6361/FAX.083-923-8366
e-mail:yamalpgasu@mx52.tiki.ne.jp

正 会 員 各 位

(一社) 全国LPガス協会

保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示等の一部改正について
(キャンピングカー等に係る緊急時対応30分ルールの変換措置) (お知らせ)

標記につきましては、令和4年4月27日付け全L協保安・業務G4第20号において、経産省より意見募集されたことについてお知らせしたところです。

この度、この意見募集を踏まえ、経産省のホームページに改正の概要が公表されましたのでお知らせいたします。

なお、公布、施行は令和4年7月15日となっております。

つきましては、都道府県協会におかれましては会員に対し、また直接会員におかれましては営業所等に対し、ご周知くださいますようお願いいたします。

また、本改正に伴うQ&Aを現在作成中で、出来上がり次第、送信させていただくことにしております。

改正概要

質量により販売されたLPガスを屋外において移動して使用されるキャンピングカー、キッチンカー等消費設備により消費する一般消費者等については、緊急時対応に関する一定の知識や技量のための講習を修了した上で、緊急時に必要な措置を自ら行うことについて、LPガスの販売契約を締結したLPガス販売事業者の確認を受けるという変換措置を取る場合に限り、緊急時対応30分ルールの対象から除くことができるようになっております。

なお、従来通りの緊急時対応30分ルールで使用する一般消費者等については、講習の必要はありません。

現在、当該講習の実施者や進め方について、調整をしているようです。

※緊急時対応30分ルールとは保安業務に係る一般消費者等の供給設備及び消費設備には原則として30分以内に到着し、バルブの閉止等の所要の措置を行うことができる体制を確保すること。

【経済産業省ホームページの掲載アドレス】

https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2022/07/20220715.html

【意見募集された結果の掲載アドレス】

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCM1040&id=595222038&Mode=1>

以 上

(発信手段：Eメール)

担当：保安・業務グループ 瀬谷、橋本、安藤

保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示等の一部改正について（キャンピングカー等に係る30分ルールの代替措置）

1. 本件の概要

2022年7月15日

経済産業省

「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」において、保安業務を行うLPガス販売事業者等に対し、保安確保の観点から、緊急時対応として、保安業務に係る一般消費者等の供給設備及び消費設備には原則として30分以内に到着し、バルブの閉止等の所要の措置を行うことができる体制を確保することを求めています（以下「30分ルール」という。）。他方で、この30分ルールによって、LPガス販売事業者が、遠方に向かい30分以内に駆けつけることが困難になることも想定されるキャンピングカー等に搭載されたLPガス容器に充填ができないといった事態も発生しています。

本改正は、LPガス容器に充填されたLPガスを一定量買い切る質量販売により販売されたLPガスを、キャンピングカー、キッチンカー等の屋外において移動して使用される消費設備により消費する一般消費者等の消費設備については、ガス安全に係る一定の知識や技量に関する講習を修了した上で、緊急時に必要な措置を自ら行うことについてLPガスの販売契約を締結したLPガス販売事業者の確認を受けるという代替措置を取る場合に限り、30分ルールの対象から除くものです。

なお、従来通りの30分以内で使用する場合について、新たに講習の修了等を義務付けたものではありません。

2. 改正告示・通達

- ・保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示
- ・液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の運用及び解釈について（通達）
- ・保安機関の認定及び保安機関の保安業務規程の認可に係る運用及び解釈について（通達）

通達においては、「質量販売緊急時対応講習」（注）について、講習実施者の要件、講習の目的、講習の内容（LPガスの基礎、各種設備の機能・取扱い、緊急時の対処方法、関係法令）、講習受講修了証の様式等を定めるとともに、LPガス販売事業者等の義務（緊急時の対応に関する確認書類の保管等）を定めている。

（注）「質量販売緊急時対応講習」：屋外において移動して使用される消費設備により液化石油ガスを消費する一般消費者等が、消費設備から液化石油ガスの漏えいが生じている場合に容器バルブを閉止するといった緊急時の必要な措置が行えるよう、所定の知識等を習得するための講習であり、かつ、この講習による保安機関の体制の緩和は、講習を受講し所定の知識等を習得した者が、実際に保安機関が30分以内に到着して行う緊急時の措置を当該消費者が行えるようにするためのものである。（保安機関の認定及び保安機関の保安業務規程の認可に係る運用及び解釈について（通達））

3. スケジュール

公布・施行：令和4年7月15日

4. 参考資料

[質量販売規制見直し概要（PDF形式：516KB）](#) 

[【告示】新旧対照表（PDF形式：57KB）](#) 

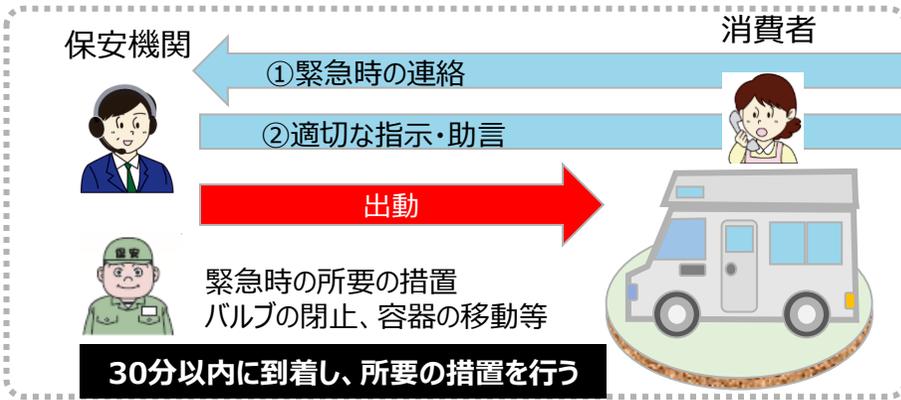
[【通達】制定文・新旧対照表（PDF形式：209KB）](#) 

お問合せ先

産業保安グループ ガス安全室
電話：(03) 3501-4032 (直通)

キャンピングカー等の30分ルール見直し（液化石油ガス法 保安業務告示・通達改正）

令和4年7月
ガス安全室



今回改正の追加事項
(一定の条件を満たした場合は
30分ルールから除く)

緊急時に所要の措置を自ら行う

緊急時対応に関する講習の課程を修了し、緊急時に所要の措置を自ら行うことについて、当該液化石油ガス販売事業者の確認を受けた消費者



液化石油ガス法において、保安業務を行う保安機関に対し、保安確保の観点から、緊急時対応として、「保安業務に係る一般消費者等の供給設備及び消費設備には原則として30分以内に到着し、所要の措置を行うことができる体制を確保すること」が求められている（以下「30分ルール」という。）。

緊急時対応について以下に限り、30分ルールから除く。(注1)
質量販売(注2)により販売した液化石油ガスをキャンピングカー等の屋外において移動して使用される消費設備により消費する一般消費者等であって、緊急時対応に関する講習の課程を修了し、かつ、緊急時に所要の措置を自ら行うことについて、当該液化石油ガス販売事業者の確認を受けたものの消費設備。

(注1) 緊急時対応以外の保安業務については従来通りである。例えば、緊急時連絡に関し、保安業務を行う保安機関が、一般消費者等に対し適切な指示・助言をすることは変わらない。
(注2) 質量販売においては、LPガス容器～調整器～燃焼器まで消費設備であり、消費者が管理を行う。

質量販売緊急時対応講習（4時間以上）

| 科目 | 範囲 |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 液化石油ガスの基礎 | 一 液化石油ガスに関する物理・化学の基礎知識 二 液化石油ガスの性質等 |
| 各種設備の機能、取扱い | 一 液化石油ガス容器等 二 調整器 三 燃焼器 四 安全機器 |
| 緊急時の対処の方法 | 一 非常時の措置（ガスが漏えいした場合、漏えいしたガスに着火した場合） 二 損害賠償責任保険 |
| 関係法令 | 一 高圧ガス保安法 第1章（総則）、第2章（事業）、第3章（保安）、第4章（容器等）及びこれらに関する政令、省令、告示、通達等 二 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律 第1章（総則）、第2章（液化石油ガス販売事業）、第3章（保安業務）、第4章の2（液化石油ガス設備工事）及びこれらに関する政令、省令、告示、通達等 |

液化石油ガス法における質量販売緊急時対応講習受講修了証

氏名 ○○ ○○
生年月日 ○年○月○日
修了年月日 ○年○月○日
修了証番号 ○○○○

上記の者は液化石油ガス法における質量販売緊急時対応講習を修了した者であることを証明する。

○年○月○日

講習実施機関名

写真

○年○月○日まで有効

講習実施機関の印

- 質量販売を扱う販売事業者から液化石油ガスを購入する際に、受講修了証を提示する。
- 緊急時に所要の措置を自ら行うことについて、販売事業者の確認を受ける。

販売契約

- 書面交付(注3)
 - 帳簿への記載・保存(注4)
 - 周知(注5)、消費設備調査、緊急時連絡等
- (注3) 緊急時連絡先等の情報も含まれる。
(注4) 緊急時における措置を自ら行うことについての確認書類や受講修了証の控えを含む。
(注5) 災害防止に必要な事項等を一般消費者等に周知する。



○経済産業省告示第四百十六号

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則（平成九年通商産業省令第十一号）第三十一条第一号の規定に基づき、保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示の一部を改正する告示を次のように定める。

令和四年七月十五日

経済産業大臣 萩生田光一

保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示の一部を改正する告示

保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示（平成九年通商産業省告示第二百二十二号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分は、これに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

| 改正後 | 改正前 |
|-----|-----|
| | |

(資格者の数)

第二条 規則第三十一条第一号の告示で定める基準は、次の各号に掲げるとおりとする。

一・二 「略」

三 前二号に定めるもののほか、緊急時対応にあつては次に掲げる要件に適合するものとする。

イ 「略」

ロ 保安業務に係る一般消費者等の供給設備及び消費設備には原則として三十分以内に到着し、所要の措置を行うことができる体制を確保すること。ただし、液化石油ガス

販売事業者が規則第十六条第十三号ただし

(資格者の数)

第二条 規則第三十一条第一号の告示で定める基準は、次の各号に掲げるとおりとする。

一・二 「略」

三 前二号に定めるもののほか、緊急時対応にあつては次に掲げる要件に適合するものとする。

イ 「略」

ロ 保安業務に係る一般消費者等の供給設備及び消費設備には原則として三十分以内に到着し、所要の措置を行うことができる体制を確保すること。

書の規定に基づき質量により販売した液化石油ガスを屋外において移動して使用される消費設備により消費する一般消費者等であつて、緊急時対応に関する講習の課程を修了し、かつ、緊急時に所要の措置を自ら行うことについて、当該液化石油ガス販売事業者の確認を受けたものの消費設備については、この限りでない。

四
「略」

四
「略」

備考 表中の「」は注記である。

附 則

この告示は、令和四年七月十五日から施行する。

経済産業省

20220525 保局第1号

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の運用及び解釈について等の一部を改正する規程を次のように制定する。

令和4年7月15日

経済産業省大臣官房技術総括・保安審議官 辻本 圭助

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の運用及び解釈について等の一部を改正する規程

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の運用及び解釈について（20200408保局第2号）及び保安機関の認定及び保安機関の保安業務規程の認可に係る運用及び解釈について（20210204保局第1号）の一部を別紙の新旧対照表のとおり改める。

附 則

（施行期日）

第一条 この規程は、令和4年7月15日から施行する。

（経過措置）

第二条 この通達の施行の日から起算して6月を経過するまでの間は、保安機関の認定及び

保安機関の保安業務規程の認可に係る運用及び解釈について2. 技術的能力について(4) ⑤中(i)から(vi)までに規定される講習に関わらず、産業保安グループガス安全室が質量販売緊急時対応講習と同等と認めた講習を受講した場合は、質量販売緊急時講習を受講したものとみなす。この場合、当該同等と認めた講習の受講修了証をもって、(iv)の講習受講修了証とする。

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の運用及び解釈について等の一部を改正する規程

○液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の運用及び解釈について（２０２０年４月８日保局第２号）・・・・・・・・・・ ２

○保安機関の認定及び保安機関の保安業務規程の認可に係る運用及び解釈について（２０２１年２月４日保局第１号）・・・・・・・・・・ ４

○液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の運用及び解釈について（20200408保局第2号）新旧対照表

（改正前欄に掲げる規定の下線を付した部分は、これに順次対応する改正後欄に掲げる規定の下線を付した部分のように改め、改正後欄に二重下線を付した規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを加える。）

| 改正後 | 改正前 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>別添4 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の運用及び解釈について</p> <p>廃止・制定 平成31年 3月15日 20190308保局第5号 改正 令和 2年 4月10日 20200408保局第2号 <u>令和 4年 7月15日 20220525保局第1号</u></p> <p>第16条（販売の方法の基準）関係 1. [略] 2. 第3号は、充てん容器の引渡しは一般消費者のもとに配達し、配管に接続してからすべき旨の規定であり、いわゆる予備容器を一般消費者等のもとにおくことを禁止するものである。ただし、いわゆるツイン方式を禁止するものではない。（この場合、手動の切換えは一般消費者等が行ってもよい。） 「屋外において移動して使用される消費設備」とは、<u>屋台、キャンピングカー、キッチンカー等</u>をいう。なお、配管を使用しないで燃焼器を容器に直接接続する用法のものに対しては適用されないものとする。 3. ～8. [略] 9. 第13号本文は、液化石油ガスの取引は、ガスメーターの設置による体積販売すなわち計量法に定める法定計量単位の立方メートル（又はこの補助計量単位）により販売しなければならないことを定めた規定であり、同号ただし書は、次の場合には質量販売すなわち、計量法に定める法定計量単位のキログラム（又はこの補助計量単位）により販売することができることを定めた規定である。 (1) [略] (2) 規則第16条第3号ただし書に規定する場合、すなわち、自動車、屋台等に備えられた移動する消費設備により液化石油ガスを消費する者（例え</p> | <p>別添4 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の運用及び解釈について</p> <p>廃止・制定 平成31年 3月15日 20190308保局第5号 令和 2年 4月10日 20200408保局第2号</p> <p>第16条（販売の方法の基準）関係 1. [略] 2. 第3号は、充てん容器の引渡しは一般消費者のもとに配達し、配管に接続してからすべき旨の規定であり、いわゆる予備容器を一般消費者等のもとにおくことを禁止するものである。ただし、いわゆるツイン方式を禁止するものではない。（この場合、手動の切換えは一般消費者等が行ってもよい。） 「屋外において移動して使用される消費設備」とは、<u>屋台等</u>をいう。なお、配管を使用しないで燃焼器を容器に直接接続する用法のものに対しては適用されないものとする。 3. ～8. [略] 9. 第13号本文は、液化石油ガスの取引は、ガスメーターの設置による体積販売すなわち計量法に定める法定計量単位の立方メートル（又はこの補助計量単位）により販売しなければならないことを定めた規定であり、同号ただし書は、次の場合には質量販売すなわち、計量法に定める法定計量単位のキログラム（又はこの補助計量単位）により販売することができることを定めた規定である。 (1) [略] (2) 規則第16条第3号ただし書に規定する場合、すなわち、自動車、屋台等に備えられた移動する消費設備により液化石油ガスを消費する者（例え</p> |

| | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| <p>ば、<u>キャンピングカー、キッチンカー</u>) に販売する場合。 <u>なお、密閉された車内で燃焼器 (コンロ) を使用する場合は、換気等に十分注意するよう指導されたい。</u></p> <p>(3)～(5) [略] 10. ～12. [略]</p> | <p>ば、<u>ホットドック屋</u>) に販売する場合</p> <p>(3)～(5) [略] 10. ～12. [略]</p> |
| <p>備考 表中の [] の記載は注記である。</p> | |

○保安機関の認定及び保安機関の保安業務規程の認可に係る運用及び解釈について（20210204保局第1号） 新旧対照表

（改正前欄に掲げる規定の下線を付した部分は、これに順次対応する改正後欄に掲げる規定の下線を付した部分のように改め、改正後欄に二重下線を付した規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを加える。）

| 改正後 | 改正前 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>保安機関の認定及び保安機関の保安業務規程の認可に係る運用及び解釈について</p> <p>廃止・制定 20210204保局第1号 令和 3年 2月25日 <u>改正 20220525保局第1号 令和 4年 7月15日</u></p> <p>1. 申請書類について (1)～(6) [略]</p> <p>2. 技術的能力について (1)～(3) [略] (4) 緊急時対応の要件 緊急時対応を行う保安機関については告示第2条第3号において別途基準が定められているが、審査に当たっては次の点に留意されたい。 ①～④ [略] <u>⑤ 告示第2条第3号ロに規定する講習（以下「質量販売緊急時対応講習」という。）は、屋外において移動して使用される消費設備により液化石油ガスを消費する一般消費者等が、消費設備から液化石油ガスの漏えいが生じている場合に容器バルブを閉止するといった緊急時の必要な措置が行えるよう、所定の知識等を習得するための講習であり、かつ、この講習による保安機関の体制の緩和は、講習を受講し所定の知識等を習得した者が、実際に保安機関が30分以内に到着して行う緊急時の措置を当該消費者が行えるようにするためのものである。</u> <u>告示第2条第3号ロに規定する「緊急時対応に関する講習の課程を修了し」とは、販売契約時に有効期限内の受講修了証を有している者をいい、「緊急時に所要の措置を自ら行うことについて、当該液化石油ガス販売事業者の確認を受けたもの」とは、例えば、液化石油ガス販売事業者が当該消費者と販売契約を締結しようとする際に、当該消費者に対する</u></p> | <p>保安機関の認定及び保安機関の保安業務規程の認可に係る運用及び解釈について</p> <p>廃止・制定 20210204保局第1号 令和 3年 2月25日</p> <p>3. 申請書類について (1)～(6) [略]</p> <p>2. 技術的能力について (1)～(3) [略] (4) 緊急時対応の要件 緊急時対応を行う保安機関については告示第2条第3号において別途基準が定められているが、審査に当たっては次の点に留意されたい。 ①～④ [略] [新設]</p> |

緊急時において消費場所に到着して行う措置を行わないことを、液化石油ガス販売事業者が書面（電磁的方法によるものを含む。以下同じ。）により説明をし、当該書面の控えに説明を受け理解した旨記載し、署名等した者等をいう。

なお、液化石油ガス販売事業者は、講習を受講し、当該講習の受講修了証の交付を受け、かつ、緊急時において自ら所要の措置を行うことについて確認を受けた者に対しても、例えば、規則第29条に規定される緊急時連絡の業務を実施しなければならないが、その措置の一つとして、電話等による適切な指示、助言等がある。

質量販売緊急時対応講習を受講し、当該講習の受講修了証の交付を受け、かつ、緊急時において自ら所要の措置を行うことについて確認を受けた者に対して、液化石油ガスを質量により販売する際は、受講修了証のコピー、緊急時において自ら所要の措置を行うことについて確認を受けた者の署名等された控えを他の帳簿と同様に保管するよう販売事業者に指導されたい。

この講習は、次の要件の全てを満たすものとする。

(i) 質量販売緊急時対応講習を実施する者（以下「講習実施者」という。）は、次の要件を全て満たすものであること。

イ 講習、研修等を適切に開催した実績（講習実施者自らの法人に在籍する者のみに対して実施されたものを除く。）を有する法人であること。

ロ この法律若しくは高圧ガス保安法又はこれらの法律に基づく命令の規定に違反し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者が役員にいないこと。

ハ 質量販売緊急時対応講習を行うために必要な教材を備えていること（必要なときに使用し得る措置が講じられていることを含む。）。

ニ 質量販売緊急時対応講習を毎年度1回以上実施すること。ただし、災害その他やむを得ない事由により、質量販売緊急時対応講習の開催が困難であるときはこの限りでない。

ホ 質量販売緊急時対応講習の受講を申し込んだ者に対し当該者の所属等によって受講の許諾を判断することなく公正に取り扱うことについて、規約等を定めていること。

(ii) 質量販売緊急時対応講習の内容は、次の表の左欄に掲げる科目に応じ、それぞれ同表の中欄に掲げる範囲について、講習時間は4科目合計4時間以上行うものであること。

| <u>科目</u> | <u>範囲</u> | <u>講習時間</u> |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| <u>液化石油ガスの基礎</u> | <u>一 液化石油ガスに関する物理・化学の基礎知識</u> <u>二 液化石油ガスの性質等</u> | <u>4時間</u> |
| <u>各種設備の機能、取扱い</u> | <u>一 液化石油ガス容器等</u> <u>二 調整器</u> <u>三 燃焼器</u> <u>四 安全機器</u> | |
| <u>緊急時の対処の方法</u> | <u>一 非常時の措置（ガスが漏えいした場合、漏えいしたガスに着火した場合）</u> <u>二 損害賠償責任保険</u> | |
| <u>関係法令</u> | <u>一 高圧ガス保安法 第1章（総則）、第2章（事業）、第3章（保安）、第4章（容器等）及びこれらに関する政令、省令、告示、通達等</u> <u>二 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律 第1章（総則）、第2章（液化石油ガス販売事業）、第3章（保安業務）、第4章の2（液化石油ガス設備工事）及びこれらに関する政令、省令、告示、通達等</u> | |

(注1) 講習の終了時に、理解度を確認すること。

(注2) オンラインによる講習（インターネット回線等で配信する講義をパソコン等によって個別に視聴させる方法）で実施することができる。

(iii) 講習実施者は、質量販売緊急時対応講習を実施する前に、講習の日程、実施場所及び受講定員並びに各科目について(ii)に掲げる要件を満たす講習である旨（科目ごとの講習形式（対面講習又はオンライン講習の別）を含む。）をインターネット等で広く公示し、受講希望者の募集を行うこと。

(iv) 質量販売緊急時対応講習の科目を修了した者に対して、講習実施機関名、受講者氏名、受講者写真、生年月日、修了年月日及び有効期限が表示された質量販売緊急時対応講習修了証（例えば、様式例によるものとする。）を発行すること。質量販売緊急時対応講習修了証を電子交付する場合において、様式例にある講習実施機関の印は、押印に代えて印影の表示をもって行うことができる。

なお、講習修了証の有効期間は講習修了の日から5年間とする。

(v) 質量販売緊急時対応講習の終了後、当該年度末までに、実施結果報告書を産業保安グループガス安全室へ提出すること。

(vi) (i)から(v)までの要件を満たすことについて、受講者の募集開始前に、産業保安グループガス安全室の確認を受けたものであること。

様式例

液化石油ガス法における質量販売緊急時対応講習受講修了証

氏名 ○○ ○○
生年月日 ○年○月○日
修了年月日 ○年○月○日
修了証番号 ○○○○

写真

○年○月○日まで有効

上記の者は液化石油ガス法における
質量販売緊急時対応講習を修了した
者であることを証明する。

○年○月○日

講習実施機関名 講習実施
機関の印

(注) 写真は、無帽、無背景、正面、上三分身、かつ、講習申込日前6
か月以内に撮影されたものであること。

(5) [略]

(5) [略]

備考 表中の [] の記載は注記である。

保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示等の一部改正に対する意見募集の結果について

[facebook](#) [twitter](#)

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリー | 国民生活の安全・安心の確保 |
| 案件番号 | 595222038 |
| 定めようとする命令などの題名 | 保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示の一部を改正する告示液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の運用及び解釈について等の一部を改正する規程 |
| 根拠法令条項 | 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則第16条第3号及び13号並びに第31条 |
| 行政手続法に基づく手続か | 行政手続法に基づく手続 |

| | |
|------------------|------------------|
| 案の公示日 | 2022年4月23日 |
| 受付締切日時 | 2022年5月23日23時59分 |
| 結果の公示日 | 2022年7月15日 |
| 命令等の公布日 | 2022年7月15日 |
| 提出意見数 | 45 |
| 提出意見を踏まえた案の修正の有無 | 無 |

| | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 結果概要 提出意見 意見の考慮 結果・理由等 | 結果概要 PDF |
| その他 | |
| 公募時の内容 | 公募時の画面 |
| 資料の入手方法 | |
| 備考 | |
| 問合せ先 (所管省庁・部局名等) | 産業保安グループ ガス安全室 |

保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示等の
一部改正に関する意見公募手続の結果について

令和4年7月15日
経済産業省
産業保安グループ
ガス安全室

「保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示等の一部改正」について、令和4年4月23日から同年5月23日まで意見公募手続を実施しました。

提出意見と提出意見を考慮した結果については以下のとおりです。なお、行政手続法第四十三条2項に基づき、提出意見は整理又は要約しております。

今回の意見募集に当たり、御協力いただきました方々へ厚く御礼申し上げますとともに、今後ともガス保安行政に御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

1. 意見募集の実施方法

- ・募集期間：令和4年4月23日（木）～令和3年5月23日（金）
- ・告知方法：ホームページにおける掲載
- ・意見提出方法：「e-Gov」の意見提出フォーム、電子メール及び郵送

2. 意見募集の結果

41件

※なお本件意見募集（緊急時対応、30分ルール）とは直接関係のない御意見（4件）に対して、経済産業省の考え方は示しませんが、承っております。

3. 提出された御意見及びそれに対する回答

次頁のとおり

4. お問い合わせ先

経済産業省産業保安グループガス安全室
電話番号：03-3501-4032

○パブリックコメントに寄せられた御意見と経済産業省の考え方

| | 提出意見 | 提出意見に関する考え方 |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 1 | <p>アウトドアの活動範囲が広がるので、キャンピングカーなどへのLPガスボンベ充填がスムーズになるようにして欲しい。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 2 | <p>改正後の内容はとても良いものだと思います。</p> <p>安全に使用して行くための講習を受け、その上で適切に使用して行けば、海外の例を見ても問題はないと思います。</p> <p>キッチンカーなどの業務に使用する場合は、特に大勢の方々がボンベの付近に集まることも考えられますので、安全講習は早期に実施すべきことだと思います。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 3 | <p>国内で使用されているキャンピングトレーラーはヨーロッパ製やアメリカ製が殆どです。それにLPガスが使えると標準装備であるガスヒーターが使用可能となります。</p> <p>以前東日本大震災時に福島から避難してきた方々を、一時的に販売中古車のキャンピングトレーラー数台に寝かせてあげたことがあります。総勢21人の暖を取る為のLPガスのFFヒーターは、寒い3月では非常に活躍してくれました。</p> <p>またコロナ禍に於いて、車中泊やキャンピングカーブームが到来していますが、安全安心な家族だけでも出かけて、ストレスを解消したいと思っている人達は、車内にいつでも予約なしで出かけられるように準備していくものです。</p> <p>だいたい1年もすると、少しでも準備せずにはすぐ出かけられる、寒い時に出かければ暖を取る事を考え、暑い時でも涼を取る事を考えます。</p> <p>車内でお酒を飲むような場面が増え、運転出来ないから車内でカップ麺など</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |

| | | |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| | <p>簡易的な食事で済ませようなど、あらゆる気象条件でも対応出来るようにしたいと考えていくものです。</p> <p>その楽しみながら、必要な装備を揃えていくことが出来るのがキャンピングカーです。いつでも防災意識を持つことは大事な事ですが、揃えておかなければいけないと思うと苦痛と感じてしまうのも事実です。</p> <p>ところが人間は”遊び”の為に揃えていくことは、楽しいはずで。</p> <p>楽しむためだけでなく、生き残る為にもLPガスがキャンピングカーでどこにいても使える事は非常に大事だと思います。</p> | |
| 4 | <p>LPガスをキャンピングカー等に積み込むことができると、キャンピングカーライフが豊かになるほか、災害時などにガスコンロが使用できるようになったり、電源が無くても冷蔵庫が使用出来たりできるので非常に有効で、長期的な避難所生活を強いられたとき、LPガスボンベがあると安心感にもつながります。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 5 | <p>移動型の調理スペースを持つ車両は緊急時、真冬でも温かい食事を多数の方に提供することができますし、東日本大震災の時も活躍しております。</p> <p>また、今後少子化による人口減少によって地方では移動型の調理ができる車両が必要になる機会も増えてくると考えます。</p> <p>移動型の加熱調理はほぼLPガスの調理器が大半を占めており、今までに調達できなかった事業者は事業自体をあきらめざる負えないことも発生しております。</p> <p>今後、移動先でもLPガスの調達ができると、たくさんの移動型調理車が集結でき、さらなる災害支援活動にもつながりたくさんの命を救えると考えます。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |

| | | |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| | この度の改正案は業界にとって非常に大きな前進となることを確信しております。 | |
| 6 | <p>改正に賛成です。</p> <p>キャンピングカーにおいてはプロパンガス搭載が可能であるにもかかわらず、カセットコンロを車内において使用するなどと言った不合理さをユーザーに強いてきました。</p> <p>改正によってレジャーにおける使い勝手が良くなるばかりでは無く、災害発生時の避難所としての機能も大幅に強化されるものと思います。</p> | ご意見ありがとうございます。参考にいたします。 |
| 7 | <p>本年度からキッチンカー事業を行うにあたり、LPガスのレンタル業者を探すのに非常に苦勞をしています。</p> <p>苦勞している点は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出店場所の近くでLPガスを借りれないので出店場所に限りが出てしまう。 2. 適正な料金かどうか不明瞭。(そもそも借りれるLPガス事業者が少ない為、高くても借りざる負えない。) 3. 持ち運びできるはずのLPガスの利便性を感じられない。 <p>等、コロナ禍において必要とされたはずの非接触型事業に負担になっている部分が多々見られる為、今回の告示には賛成致します。</p> | ご意見ありがとうございます。参考にいたします。 |
| 8 | <p>過去10年以上に渡り、LPガス販売事業者からキャンピングカーに対するLPガスの充填を断られている状態が続いておる中、今般の経済産業省ガス安全室からの規制見直しにつきましては、国内キャンピングカー市場/キャンピングカー所有者/LPガス販売事業者(保安機関)の現状を十分に調査検討されたとても良い改正だと思えます。</p> | ご意見ありがとうございます。参考にいたします。 |
| 9 | 「一般消費者等について、ガス安全に係る一定の知識や技量に関する講習を修了し」 | 緊急時対応の対象外とするかわりに、一般消費者等にはガス安全室が認めた講習機関の講習を受けていただくことで、保安レベルの維持・向上を図ることとしております。 |

| | | |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| | <p>上記の部分を、講習を修了した事業者が指導をするとかにしていただけると、対応しやすくなると思います。</p> | |
| 1 0 | <p>レジャーや日常で使用することはもちろん、災害時や緊急時にも活躍できるキャンピングカーの設備においてLPGはとても使い易く有効な燃料と思います。</p> <p>災害時や緊急時にはキャンピングカー設備用だけでなく、停電などライフライン復旧までのエネルギー源としても有効です。</p> <p>現在のLPG充填の規制状況下では地域、環境によっては入手が困難で、折角の設備がその備えになりえない状況です。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 1 1 | <p>キッチンカーにしてもキャンピングカーにしても、必ず初回の供給開始点検と漏えい検査でOKと許可した書類を車内に保管しておくこと、それを次に充填する供給会社が提示を求め確認すること、更に4年に1回の検査も受ける事。</p> <p>積載は10キロ2本まで。キッチンカーや屋台販売は屋内扱いなので8キロ2本迄。</p> <p>3本以上積みたい車は高圧ガス標識プレート掲げても、漏えい時にガスを空気中に流せる、あおりのあるトラックなどに限定すること、運搬時は調整器につながっているか、ボンベ単体の場合はインレットプラグ（漏れ防止）をかならずつける事。</p> <p>20キロボンベなどを積載している露天商などは違反となる。反社に販売してはならないこと。</p> <p>知識もスキルも少ない販売店はやらないほうが良いし、小容器販売や重量販売を行っている販売店との区別をはかること。</p> <p>キャンピングカーでの遠距離使用でも、使用者の認定講習は良いと思う</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |

| | | |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| | <p>が、キャンピングレンタカーなどが出始めているので、そこはどうするのか、などなど色々問題はあります。弊社はかなりしっかりと検査、指導、レクチャーしてやっていますが、使用者側との直接取引がやはり一番安全かつ正確に対応できている現状です。</p> | |
| 1 2 | <p>キャンピング車は、「道路運送車両の保安基準」や「構造要件」等の基準に沿って製作されており、その架装装備には「火力」としての「LP ガス」等も含まれております。</p> <p>移動先などでの、「調理や暖房」の為にエネルギーは、「LP ガス」が大変有効で、それは世界的に見ても普通です。</p> <p>カセット式ガスカートリッジ（使い捨て缶）も普及していますが、1本あたりのガス量が少なく、暖房等には少なすぎるのが実際です。</p> <p>再充填ガスシリンダー（LP ガスボンベ）も積載されていても、いわゆる「30分ルール」が妨げになり、再充填が困難な事がほとんどです。</p> <p>また、最近では災害時の「キャンピング車」の有用性も認められ始めていますが、「水」「電源（バッテリー）」「寝台」等は装備されていても、実際の「火力」が使用困難であったりして、その有用性が半減しています。</p> <p>今般、法改正により、一定の基準の元「30分ルール」からの除外が可能になれば、上述の2点の問題が一举にクリアされると思います。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 1 3 | <p>今回の一部改正は非常に有意義かつ大切な改正だと思います。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 1 4 | <p>現在の日本には、以前にもまして欧米で製造されたキャンピングカーやキャンピングトレーラーが輸入され、所有する人も増えています。</p> <p>所有の目的は主にレジャーであると思いますが、昨今では防災の観点からキ</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |

| | | |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| | <p>キャンピングカーやキャンピングトレーラーを所有することを考えるひとも多くみられます。</p> <p>このような欧米で製造されたキャンピングカー、キャンピングトレーラーはそのほとんどがプロパンガスボンベを搭載して車両設備（ヒーター、キッチンコンロ、冷蔵庫の冷却）を使用するように設計されています。</p> <p>欧米でごく当たり前に採用されているプロパンガスを日本で使用することができないのは非常にもったいないと思います。</p> <p>この問題が解決できれば、キャンピングカーやキャンピングトレーラーをレジャーだけでなく、防災（シェルター代わり）に利用することができ、自然災害の多い日本でもっと活躍の場を広げることができるのではないかと考えます。</p> <p>災害時にプロパンガスが活躍できるのは、電気の供給がなくてもそれらの設備がプロパンガスのみで利用できるためです。</p> <p>これは、キャンピングカーやキャンピングトレーラーに限ったことではなく、災害現場での調理や暖房にも使えるようになるということです。</p> <p>これが最大の強みだと思います。</p> <p>ぜひ日本でも、プロパンガスの充填が欧米と同じように行われるようになることを期待しています。</p> | |
| 1 5 | <p>最低限の正しい知識があれば比較的簡単・安全に取り扱うことができる。</p> <p>電気を熱源とする機器よりも使用環境にも左右されないところが魅力的である。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 1 6 | <p>講習を受けることにより基礎知識が学べ、より安全に気を付けて使用することができると思います。またガス業界の企業様にも販売量が増え売上が期待</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |

| | | |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| | されると思います。是非1日も早く改正をして頂けたらと思います。 | |
| 17 | キャンピングカー等にてLPガスを使用することを目的とする消費者に販売するにあたり、LPガスの転売やLPガス容器の又貸しを規制(禁止)する旨の記載が必要であると思料する。 | ご意見ありがとうございます。参考にいたします。 |
| 18 | 近年の生活様式の変化、緊急対策時の手段として鑑みた場合、改正は必然だと考えます。 | ご意見ありがとうございます。参考にいたします。 |
| 19 | <p>キャンピングカーに搭載されるLPガスボンベに充填の拒否をされ大変困っております。</p> <p>万が一の災害時にはもちろん、旅行時にも経済的で何とかならないものでしょうか？</p> <p>暖房も化石燃料に頼らざるを得ず全然クリーンではありませんし今の時代にも逆行します。</p> <p>ガス販売業者にだけ責任を負わせず個人の保守点検の義務化なのか、個人の責任であるという自署なのか</p> <p>ガスに対する知識なのか、数年に一度ガス配管の交換義務化なのかはわかりませんが、個人も本当にガスの使用を希望もしくは困っているならば何かしらのハードルやコストも受け入れるべきだと思いますので、それで篩に掛けて頂き有効期間付きの証明書などの発行それを確認しガス販売業者が充填するなど手間やコストを避けたい人はキャンピングカーでのガスの利用を諦めそうじゃない人には一定有効期間充填を許可、その後は更新すれば可能このような仕組みを心から希望します。</p> | ご意見ありがとうございます。参考にいたします。 |
| 20 | 私は以前キャンピングトレーラーを使っておりましたが、やはりキャンピングトレーラーはLPガスを使用するのが最適でした。特に冬場のガスFFヒーターは暖房能力も高く非常に重宝しましたので、これが全国のガス販売店で供給できるようになると日本の | ご意見ありがとうございます。参考にいたします。 |

| | | |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>キャンピングカーおよびキャンピングトレーラー、ひいては日本のRVやレジャー業界がもっと発展していくものと考えます。</p> | |
| 2 1 | <p>キャンピングカーにおけるLPガスボンベの使用については、今まで確立された基準がなく、「なあなあ」で来た感じがあります。</p> <p>ですので、何か事故があった場合販売者責任となっていました。</p> <p>しかし、使用者側に講習などを受けてもらい、より安全に取り扱いできれば、事故の発生も抑えられ、逆に事故が減るのではないかと考える。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 2 2 | <p>これまでに過去幾度と質量販売にあたって数社に問い合わせ確認したが、一律で会社方針として断られた。その問い合わせでは甲種機械の資格保有であることも申し添えたが、全く考慮されず法規制とその事業者解釈に関して失望しており、今般のパブリックコメントに関しても、今頃かと呆れている。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 2 3 | <p>告示改正、通達改正に賛成する。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 2 4 | <p>質量販売は移動販売のキッチンカーの需要増もありながら、消費者起因の事故や定期点検等のリスクもあり、積極的に販売をしない事業者が多いと思います。</p> <p>今回の改定案は、消費者の技量・知識がある場合は30分ルールを除くという、そういった質量販売の課題解決に向けての一步前進だと思います。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 2 5 | <p>この30分ルールが非適用になるのは、どの程度の規模の設備までなのでしょう？たとえ一般消費者等の設備であっても、規模が大きければ、危険度が高いと思われませんが。</p> | <p>今回の改正による30分ルールの対象外になるのは、キャンピングカー等により屋外において移動して使用される質量販売の消費設備であれば、設備の規模に制限はございません。また、質量販売でかつ移動して使用される消費設備は比較的簡易な設備です。</p> |
| 2 6 | <p>世界規模の観点から、キャンピングカーにおけるプロパンガス設備の装備や利用は一般的です。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |

| | | |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| | <p>そんな中、日本国内において、キャンピングカーに対するガスボンベの充填等、現状は厳しいものとなっておりますので善処願いたい。</p> | |
| 27 | <p>非常に良い案件だと思います。 案件の通り、使用者に正しい使用法を、との事も納得できます。 早急に実施できるように宜しくお願いします。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 28 | <p>キャンピングカーにおいてLPGはガスコンロ、ヒーター、ボイラー使用の際必要不可欠です。 ガス漏れ検査は車検、12か月点検時に行っておりますので異常があれば直ぐに修理行える状況です。 災害発生時において、キャンピングカーは避難生活にも活用ができます。 その際、LPGガスがありますと安心して避難生活を送ることも可能です。 是非とも改定をお願い致します。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 29 | <p>質量販売により販売された液化石油ガスを、キャンピングカー等の屋外において移動して使用される消費設備により消費する一般消費者等について、ガス安全に係る一定の知識や技量に関する講習を修了し、緊急時に所要の措置を自ら行うことについて液化石油ガスの販売契約を締結した液化石油ガス販売事業者の確認を受けた場合に限り、30分ルールから除くという改正案に賛成します。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 30 | <p>通達改正案の5ページの改正後欄の21行目「この法律」はどの法律を指すのか？</p> | <p>ご意見ありがとうございます。「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」のことを指します。</p> |
| 31 | <p>この緩和により、講習を受けた者がキャンピングカーの液化石油ガス設備に対しての充填の難易度が下がることを望みます。 また、液化石油ガス販売者に対する周知徹底も望みます。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |

| | | |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 2 | <p>長期の旅行の際など出先でガスボンベを充填できるようになれば、とても便利です。</p> <p>カセットボンベと違い、安全性も高いと思いますので、是非お願い致します。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 3 3 | <p>出先での充填が困難な状況には不便を感じています。</p> <p>改正にて改善される事を強く望みますが、実際使用している者からして、講習でなく販売店さんからの文書による注意喚起で充分でないかと思えます。ご検討いただけますと幸いです。</p> | <p>緊急時対応の代替措置として、一般消費者等には経済産業省が認めた講習機関の講習を受けていただくことで、保安レベルの維持・向上を図ることとしております。</p> |
| 3 4 | <p>改正に賛成致します。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。参考にいたします。</p> |
| 3 5 | <p>⑤ (ii) 質量販売緊急時対応講習の内容は、次の表の左欄に掲げる科目に応じ、それぞれ同法の中欄掲げる範囲について・・・・・・・・</p> <p>緊急時の対処方法の損害賠償責任保険について説明を行うこととなっておりますが、LPガス事業者賠償責任保険と混同することから「キャンピングカー、キッチンカー等の使用者責任について」としてもらいたい。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。ご意見については、今後、講習を実施する際の参考とさせていただきます。</p> |
| 3 6 | <p>明らかに概念の違うグループが混在しているように見受けられる。屋台・キッチンカー等の営業に資するグループは、それが己が商売であるから毎年4時間の講習はある程度容認できるが、キャンピングカーをはじめキャンプを楽しむユーザーは、趣味趣向の範囲内にある。しかも多くの屋台営業者のように20kg容器を使用する訳ではない。ユーザーの多くは8kg以下の小型容器を使用していると推認される。従って、一般ユーザーに関しては講習時間を短縮して、ガス特性や閉鎖空間における爆発濃度に関する知識、何より危険を察知した場合の緊急の処置（すぐに容器バルブを閉めてしまう等）等を周知すべきであり4時間に亘る法定義</p> | <p>緊急時対応の代替措置として、一般消費者等には経済産業省が認めた講習機関の講習を受けていただくことで、保安レベルの維持・向上を図ることとしております。講習時間についても、一般消費者等が習得すべき知識等を考慮し、算定しております。</p> |

| | | |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 務講習は一般消費者にはハードルが高いと考えます。 | |
| 37 | <ul style="list-style-type: none"> ・一般消費者等に対する講習は是非共実施して欲しい。 ・祭り、催事で使用されている調整器等期限切れの機器を見ることがあるので「期限管理」も制定していただきたい。 | ご意見ありがとうございます。参考にいたします。 |
| 38 | 講習を修了した者が、緊急時対応を行う場合においても、自ずと、対応できる容器の本数、或いは、複数の場所に移動する容器によっては、講習修了者自らで対応できない場合があることを懸念する。それより、講習修了者が緊急時対応できる容器の本数（保有量）および複数の移動場所又は保管場所については、ある程度の制限が必要と考えます。 | 今回の改正により、緊急時対応の対象外となる場合は、販売契約を締結する際に、緊急時に所要の措置を自ら行うことについて、販売事業者の確認を受ける必要があり、一般消費者等が自ら行うことが確認できない場合は緊急時対応の対象外にはなりません。 |
| 39 | 販売事業者は、消費者の修了証の有効期限の管理を行わなければならないのでしょうか？ | 法令上の義務はございませんが、販売契約を締結する際に修了証の有効期限が切れていないか確認することが望ましいと考えております。 |
| 40 | 消費者が今回の示された所定の条件を満たす場合であっても、消費者に質量販売を受ける権利が生じることでは無いように運用をお願いしたい。 | 今回の改正により、緊急時対応の対象外とする条件を満たしている場合でも、従来どおりLPガスの販売について販売事業者の判断になります。 |
| 41 | 今回示された案では消費者が「質量販売緊急時対応講習」を修了していることを要件としているが、調査員、保安業務員、業務主任者の代理者の修了証や販売主任者、製造保安責任者、液化石油ガス設備士免状を所有している場合はどうか。これらの修了証・免状を所有していれば、十分な知識を有していると思われるが、今回の改正の内容で可能であると読み取れるか。読み取れるとした場合、修了証・免状を取得した時期によって可否の条件が加わるか。 | 質量販売緊急時講習について、資格等による科目免除等はしておりません。 |